



目次

- ◇東日本大震災とその対応について…………… 1 ◇青森で取り戻したの …………… 2
 ◇酒田港ケーソンヤードが約40年の歴史に幕 …………… 2

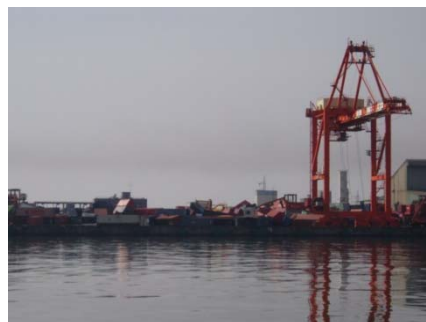
東日本大震災とその対応について

港湾空港部

平成23年3月11日14時46分、三陸沖を震源とする国内観測史上最大となるマグニチュード9.0の東北地方太平洋沖地震が発生しました。この巨大地震により宮城県で最大震度7、東北の他県でも最大震度5強以上の揺れを観測し、その後、この地震により発生した津波により東北を中心とした東日本の太平洋沿岸部において、多くの尊い命が失われるなど、これまで私たちが経験したことの無い未曾有の大災害となりました。今回の大震災で被災された方々に心よりお見舞いを申し上げます。



被災後の釜石港湾口防波堤

被災後の高砂コンテナターミナル
(仙台塩釜港)

東北地方整備局では、地震発生と同時に災害対策本部(非常体制)を設置し、災害対応業務にあたりました。当局管内の太平洋側の港湾では、地震・津波による港湾施設の被害に加え、津波によって流されたがれきや浮遊物が港内に散乱しており、すぐに緊急物資などを積んだ船が接岸できない状況でした。このため、港湾空港部では、被害の大きかった東北太平洋沿岸の各港湾について、日本埋立浚渫協会等の協力のもと、ただちに航路啓開作業を実施しました。その結果、3月16日には宮古港及び釜石港で支援物資の陸揚げが行われ、同23日には被災を受けた10港全てで一部岸壁等において海上からの支援物資の受け入れが可能となりました。



支援物資の陸揚げ状況(大船渡港)

応急復旧をほぼ終えた現在、港湾空港部では、今後の港湾施設の津波・地震対策や新たな港づくりの観点から将来を見据えた計画的な復旧・復興を行うために、委員会等を設置して検討を進めております。この委員会等で決められた方針等は、港毎に設置されている復興会議に示され、最終的に各港の復旧・復興に役立てられます。

震災から約4ヶ月が経過し、最近では、貨物船やコンテナ船第1船入港などがニュースとして取り上げられるなど、明るい話題が増えてきております。震災で被害を受けた港湾が完全に復旧するには、しばらく時間がかかりそうですが、引き続き一日も早い復旧・復興に向け取り組んで参ります。



津波・震災対策技術検討委員会



青森で取り戻したものの

～北前船復元と甦った操船技術～

青森港湾事務所

北前船は江戸時代に西廻り航路で活躍した帆走の和船です。青森市のみちのく北方漁船博物館にある「みちのく丸」は、国内最大級の復元北前型弁才船で、自力帆走も可能な大型和船です。この度同博物館と東奥日報社など地方新聞社9社で構成される北前船日本海文化交流実行委員会の主催により、地域の発展と東日本大震災復興支援を目的として、みちのく丸が日本海沿岸のゆかりの地を帆走して訪問することになりました※。

みちのく丸の帆走には、20～30名の操船者が必要ですが、青森から乗船する操船経験者は10名弱であり、安全な航海のためには各地から応援の参加者が必要となります。各地から延べ30名ほどが、6月までに計4日間青森湾で実際に帆を張り、操船技術を学びました。参加者たちは、船内で「おい〇番あっちに綱を」など普段の職業や立場に関係なく、全員番号で呼ばれ指導を受けていました。暗くて暑い下層から中層、甲板と一通り操船した後、参加者は本物でしか味わえない感動とともに地元に戻っていきました。江戸時代の操船技術が青森から各地に伝わることとなります。7月13日に青森を出港し、各地で行われる船内見学などが多くの人々を魅了することになるでしょう。全48日間の航海の安全を願っています。



帆を張る参加者たち



帆走するみちのく丸

※詳しくはみちのく北方漁船博物館HP <http://www.mtwbm.com/> をご覧ください。



酒田港ケーソンヤードが約40年の歴史に幕

～酒田港ケーソンヤードが撤去～

酒田港湾事務所

酒田港のケーソンヤードは昭和44年11月に整備が開始され、昭和46年3月に完成した、「斜路方式」のケーソンヤードです。

最大重量2,000トンのケーソンを同時に4函製作可能で、昭和46年からケーソン製作を開始し、約40年にわたり南防波堤、北防波堤の本体部分となるケーソン341函(当事務所製作分)を製作してきました。

近年は、ケーソンの大型化などでケーソンヤードを利用して製作するケーソンも南防波堤のケーソンのみとなっており、平成22年12月28日に進水した南防波堤用ケーソンが最終函となりました。

今後の酒田港整備にあたって、ケーソンヤードを利用する予定がないことから、最終ケーソン製作終了後の今年3月29日の撤去工事完了により、酒田港の発展に重要な役割を果たしてきたその歴史に幕を閉じました。



撤去前のケーソンヤード

※1 ケーソン : フランス語で箱のこと。一般土木では橋梁やビルなどの基礎に用いる潜函のことを指す。港湾で用いられるケーソンは、中空の鉄筋コンクリート製の箱のこと。防波堤や岸壁の本体として用いられている。

※2 ケーソンヤード: ケーソンを製作するための作業施設・用地をいう。

<発行>国土交通省 東北地方整備局 港湾空港部

〒980-0013 仙台市青葉区花京院一丁目1番20号
TEL.022-716-0003 FAX.022-716-0017
E-mail:info-k82ab@pa.thr.mlit.go.jp
<http://www.pa.thr.mlit.go.jp>

「海とみなとの相談窓口」全国共通フリーダイヤル

大いに 良くなれみなと
全国共通フリーダイヤル **0120-497-370**
※受付時間 / 9:30～12:00、13:00～17:00
(土・日・祝祭日・年末年始を除く)



近くて便利な東北のコンテナサービスを紹介
<http://www.pa.thr.mlit.go.jp/kakyoin/cm/>



みなとから地域に活力を!

<http://www.pa.thr.mlit.go.jp/kakyoin/minato-oasis>